

## 各地の取り組み紹介 広島県

# 広島の子育て支援がパワーアップすることを願って

(財)ひろしまこども夢財団 臨時職員 金子 留里

### 個人で実施するのは荷が重く

私がお阪(KKI)でノーバディズ・パーフェクト・プログラム(NP)のファシリテーター養成講座を受けたのは今から5年前になります。その頃すでに広島県には、東京の養成講座を受けたファシリテーター(CCC所属)が数人おられて活動されていましたが、まだまだ一般にNPの認知度は低く、広島市内で2、3回ようやくNPを実施されたという状況でした。私は、自分の活動仲間の力を借りれば何とか講座が実施できるだろうと考えていたのですが、実際に動いてみると予想以上に人の手も費用もかかり、講座を個人で主催するのは荷が重すぎると感じていました。NPの主催者を探すためにあちこちに声をかけていくうちに「ひろしまこども夢財団」に出会い、NPを行う親育ち事業の立ち上げ、実施に私も関わるようになったのが4年くらい前からです。

ひろしまこども夢財団は、広島県が子育てにやさしい社会環境の整備を目的として平成8年に設置した財団法人で、子どもの健やかな成長を願い「安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」「出産、育児などにあたる子育て家庭への支援」を目的とした事業を行っています。ノーバディズパーフェクトプログラムの他にも、子育て支援人材育成のための研修会・講演会の開催、携帯電話のメールを使った子育てに関する情報提供(Kids情報送信サービス)等様々な事業をしており、今年度は新たに「親子の絆づくりプログラム“赤ちゃんがきた”(略称BP)」や「お父さん応援事業」にも取り組んでいます。昨年4月から私は、ご縁があって臨時職員として仕事をしていますので、広島県でのNPやBPの取り組みについて紹介したいと思います。

### 学生が保育するNP講座

ひろしまこども夢財団が初めてNPに取り組んだのは、平成18年でした。その後、年に2回ずつのペースで実施してきています。1、2年目は夢財団が単独で主催していましたが、3年目からは母親支援だけではなく、学生の保育体験を重視した次世代育成支援の目的で県内の大学との連携事業になりました。そのため、保育を担当する学生の子育て支援の意識を醸成したり、また、保育スタッフには学生と親をつなぐ役割を担っていただき、ファシリテーターと保育関係者との連携を強めたりするなどして、NPに関わる母親、子ども、学生、保育スタッフ、ファシリテーターの間に新たな信頼関係ができたように思います。

子どもさんをあずけるお母さんたちが、我が子を熱心に世話する若い学生たちを見て喜んだり、



子どもたちが学生をきょうだいのように慕ったり、保育スタッフが学生を見守りサポートしながら親子との間を取り持ったり、NPでの学習の他にも、多世代みんなで支え合う子育ての場としての保育ができるようになってきたと感じています。もちろん、参加者が保育に対して不安を持たないように、学生の保育の質を上げ、保育スタッフがきちんとフォローできる体制を作るのが大前提ですので、様々なお母さん方の心配事に対応できるように、まだまだこれからいろいろな工夫が必要になって来ると思います。

### NPファシリテーター養成講座の実施

こういった毎年2回の講座実施の他にも、NPを県内に広げるためにファシリテーターを育成する「親育ち応援研修人材育成事業」を平成20年度から行ってきました。KKIでの養成講座を自己負担で受講する広島県の活動者に対して、旅費を半額補助するといった事業ですが、年に2人が利用してファシリテーターとなり、夢財団主催の講座を実施する際にはファシリテーターとして協力して頂いています。報告書の作成等は結構たいへんですが、研修にかかる費用負担が軽くなり、受講後もNPにつながる情報を得やすいので、頑張りがいのある制度だと私は思います。

このようにして、夢財団の人材育成事業により5人のファシリテーターが誕生しましたが、県内全域を網羅するほどの数にはまだまだ足りません。せっかく定期的にNPを実施して認知度も徐々に上がり、時には遠方からも受講の問い合わせが入るようになってきたことから、思い切って本年度は、将来県内全域で実施できる基盤になるように、ファシリテーターを養成しようということになりました。早速KKIの事務局にご相談したところ、快くご承諾いただけました。

初秋に4日間かけて行った養成講座は、14人定

## 地域に根付く講座を広げたい

員のところに30名の応募があり、NPへの関心の高さに改めて驚きました。応募されてきた方はどなたもとても熱心で、14名に絞るのが大変でした。面談や書類審査を経て財団内でも何度も検討を重ねて、ようやく14名の受講者を決定した時には、講座はまだまだ先なのに肩の荷が半分下りたように感じたことを覚えています。

そして、いよいよ講座が始まってみると4日間はあっという間に過ぎました。仕事の都合で時々しか様子を見に行けなかったのですが、最初緊張気味で硬かった受講者の方たちの表情が徐々にほぐれていき、「大変だ」「難しい」と頭を抱えながらも前向きに学習をこなし、最終日にはみなさん晴れ晴れとした顔で修了証を受け取っておられたのが印象に残っています。生まれたてのファシリテーターのみなさんには、これからの活動に不安もあったと思いますが、地元で開催したということもあり、14名は強い絆で結ばれ広島の新しいNPの核となって、やる気全開のスタートを切っただけなのではないかと思えます。

### NP講座の拡充

ご存知のように、NPファシリテーターは養成講座受講後、NPを1回実施しなければ認定ファシリテーターになることができません。せっかく養成講座を受けたのに実施ができなければ、宝の持ち腐れとなります。そこで、広島県内にさらにNPの輪を広げながら、今回の養成講座の受講者の実施先を確保しようと、県内13カ所でNPを計画することになりました。主催者となってくださったのは、地域の子育て支援団体、子育て支援センター、保育園、公民館、大学、企業等でどこも初めてNPを実施するところばかりでした。

私が以前NP実施をお願いに行った関係各所で、「NPには関心もあり取り組んでみたいけれど、期間が2カ月と長いので受講者が集まるのが不安。また、その期間中の場所と保育者の確保が難しいし、全体的に費用がかかりすぎる」と言われたことがあります。NP受講者の終了後のアンケートでは、「まだまだ続けて受けたい」という声が多く評価は高いのですが、準備し運営していく側からすると、ハードルが高い講座だと考えられているようです。今回は夢財団の補助事業ということで、費用については財団が負担し、その他の手配については主催する団体をお願いしました。受講者への告知、会場確保、保育の手配等いろいろ大変な面もあったと思いますが、どの主催者さんも手探りしながら頑張って受講のための環境を整えてくださいました。

また、13か所の講座のファシリテーターは夢財団が手配しました。広島での養成講座を修了したファシリテーターだけでなく、すでに地元で活動中の認定者やまだ認定をとっていない養成講座修了者4名にも声をかけ、ファシリテーター同士は

もちろんですが、地域とファシリテーターがつながるように考慮しながらセティングしました。おかげ様で、今回の講座実施でNPファシリテーターは新たに18名増えることになり、ファシリテーター同士のつながりも深まり、今後の活動のネットワークづくりにも大いに役立つと思います。

### BPファシリテーター養成講座とBP講座

NPファシリテーターの養成講座の実施を原田先生にお願いした時に、0歳児の子どもを初めて育てる母親のための「BPプログラム」が間もなく完成するというお話を聞きました。NPプログラムの様な参加型学習の形態をもち、子育ての基本的な知識も学習できるレクチャーもあると聞いて、初めて子どもを育てる0歳児のお母さんに、「体験から学ぶNP」を受講する前にぜひ受けていただきたい講座だと私は感じました。今年度はNPファシリテーター養成講座開催も決まっていたし、せっかくなので何とかBPファシリテーターの養成も広島でやりたいとお願いしました。

こうして「NPファシリテーター養成講座」に続いて「BPファシリテーター養成講座」を12月に開くことになりました。広島でも、そして全国でも初めての養成講座でしたので、受講の対象者を県内のNPファシリテーターに絞り、私を含め10名のBPファシリテーターが誕生しました。BPの養成講座を受けて感じたのは、同じファシリテーターという名前ではありますが、NPとは違った難しさがあるということです。BPでは育児の基本的な知識を得てもらうために、時にはファシリテーターが「教える」立場に立たなくてはならない場合があり、「教えない」はずのNPファシリテーターの意識をどう切り替えるかに戸惑いもありますが、BPファシリテーターの実体験から学びながらより良いものにしていきたいと思えます。BPは2月から広島市、福山市、海田町、世羅町、安芸太田町の県内5か所で実施予定です。講座実施への市町の反応は予想以上に良く、期待感の高さがうかがえます。私はファシリテーター仲間と一緒に、緊張しながらもベストを尽くします。

### 終わりに

(財)ひろしまこども夢財団の取り組みにより、今年度広島県内にたくさんのNP・BPのファシリテーターが誕生します。今後は地域とファシリテーターとのつながりを生かして、その地域に根付く講座を広げられたらと期待しています。また広島独自のNP・BPファシリテーターのネットワークが機能し情報交換や学習会等もできれば、広島の子育て支援がさらにパワーアップするはずですよ。まだまだできること、やりたいことはたくさんあります。焦らず、あきらめず、これからも一歩ずつ進んでいきたいと思えます。

